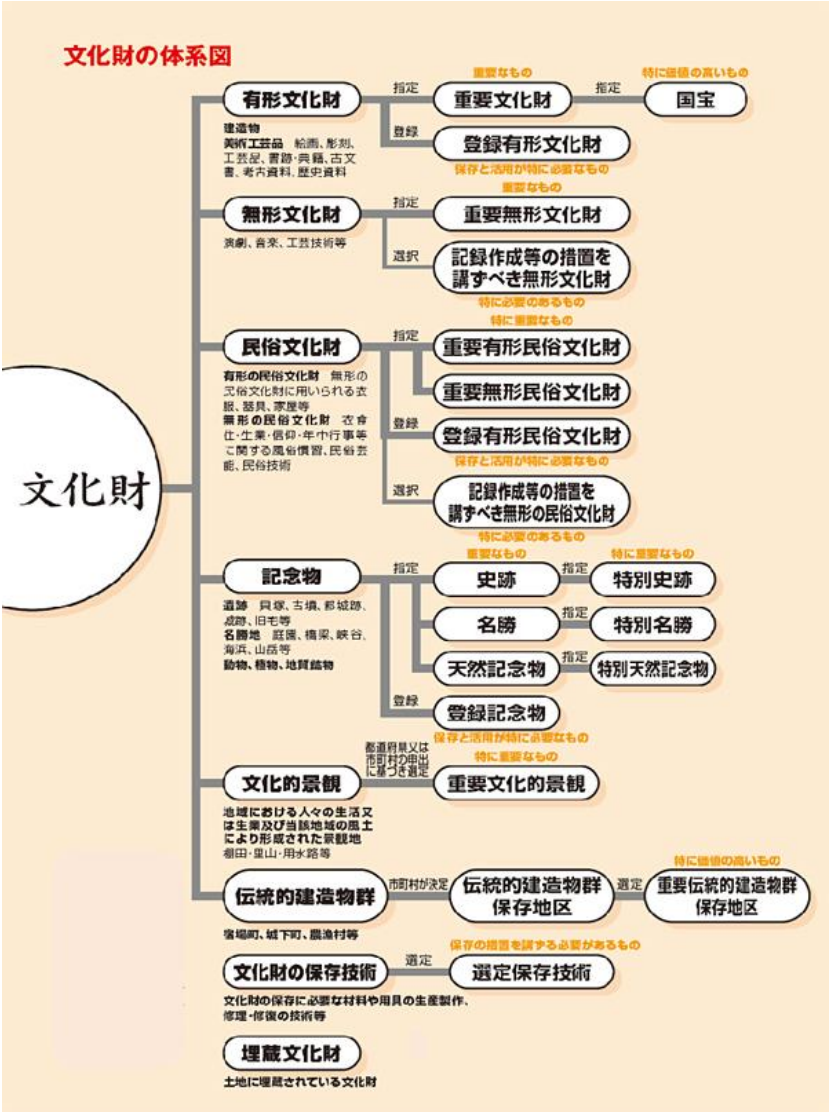


文化財は貴重な国民的財産



＊「歴史文化資源」の当会の定義

江戸東京の歴史性を示す歴史文化遺産は、指定文化財のほか東京の歴史や文化を示す未指定の有形無形の様々な遺産を含めたものであり、これらは、地域の人々が、大切にして保全されてきたものも含まれる。

これらの歴史文化遺産を「資源」として多くの人々に知って戴くと共に保存と活用の取り組みを進め、次世代へ、未来の人々への宝物として継承して行くことが肝要である。

左記の文化財体系図は、日本の歴史や文化の理解に不可欠であり、将来の文化的向上の発展の基礎をなすものである。

(文化庁資料より掲載)

【編集後記】

愈々、江戸東京の歴史文化資源を、一つひとつ学び、見える化して参ります。11号特集では祭りの写真を掲載させて頂きました。天下祭は、江戸から現在に至る迄、多くの人々の協力により継承されています。やはり、このエネルギー素晴らしいことデスネ。(U) いよいよプラットフォームプロジェクトが始動しました。江戸東京に受け継がれてきている有形・無形の素晴らしい資源の数々を集め、ホームページとあわせてじっくりと拡充させていきたいですね。(I)

お問合せ先

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

〒102-0075 東京都千代田区三番町 1-16

ホームページ <https://zaidan-edomo.or.jp/>

Eメール: zaidanedojo@gmail.com

FAX : 03-3977-3510

※ 現在、新型コロナウイルス対策のため、テレワークを中心に活動いたしております。
ご用の際は、Eメールもしくは郵便にてご連絡頂けましたら幸いです。

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス Edo Tokyo History & Culture Renaissance

近未来の世界遺産を目指す

江戸城・城下町ルネッサンス

2021年6月28日

第11号

ご案内

第11号本誌
・江戸東京歴史文化資源を活かした観光まちづくり
・江戸東京は、日本一文化財の多い都市
・伝統工芸は、日本有数の産地
第11号特集
・近未来の世界遺産を目指す江戸東京歴史文化資源
Platformプラットフォーム

江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりに向けて
プラットフォーム & Platform
プロジェクト・活動のスタート

日頃より、ご支援を戴き篤く御礼申し上げます。コロナ禍の折、如何お過ごしでしょうか。みなさまのご健勝を心からお祈り申し上げます。

世界の首都は、久しく、歴史的伝統や文化的創造の時代に入り、それらを磨きかけ都市間競争の熾烈さに立ち向かっています。

一方、2020年東京観光審議会資料が示すように、現在の東京は滞在型の観光都市ではなく、ハブ化し素通りされる都市として窺われているのではないのでしょうか。

近年、日本における、歴史まちづくりのイメージは、倉敷や高山、妻籠、小樽運河などの街並み保存運動のように、例外的な都市や市町村だけの課題として、捉えられてきた向きは否めず、そもそも明治以降の東京都市計画は、江戸東京の歴史的一元性を踏まえて計画されてきた訳ではない、と云えるでしょう。

しかし、時代は変わり、美しい景観や都市の歴史的なストックが貴重な宝物であり、都市の個性を活かした観光資源とみなされる時代になってきました。既に、80余りの自治体は、国の様々な補助や支援を受けて歴史文化まちづくりを推進しています。

400年間、首府であり続けた東京は、日本一文化財の多い都市であり、伝統工芸に至っても日本有数の産地と云われています。

江戸東京の有形無形の歴史文化資源を活かした観光まちづくりの第一歩は、調査研究の成果である、江戸城跡に現存する600余の歴史的価値の高い建造物等をコアとし江戸東京歴史文化資源等・プラットフォームにより順次、見える化を進めております。

江戸東京の歴史的文化的という実像が鮮やかに浮かび上がるのは、それらに関与する人々の想いや活動を一元的に捉えてこそ、豊かな世界がひろがりと共に新たな息吹による付加価値をも見出すことになるのではないのでしょうか。

これらの活動は、江戸城の要である本丸御殿等江戸城全体整備構想の策定活動と表裏一体のテーマとして進めることにより、必ずや城郭都市東京の実現に向かうことになるかと存じます。

一人でも多くのみなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

2021年(令和3年)7月好日
理事長 小竹直隆

本丸御殿等江戸城全体整備構想の策定活動のテーマと表裏一体とする 江戸東京歴史文化資源を活かした観光まちづくり

東京は、日本一文化財の多い都市であり、伝統工芸に至っても日本有数の産地

歴まち法と連携する歴史文化基本構想イメージ図では、ご覧のように、山と川のある美しい街には、谷も水辺や海辺もあり、古墳や遺跡、神社仏閣などの歴史建造物群あり、ビルオフィス街、工場地帯、住宅地などが街の中に混在しています。これらは、古いだけではなく多様な歴史的伝統と革新的な文化が共存している、まさに都市東京のことなのです。しかし、その歴史性が薄れてゆく危機感の下、江戸東京の見える化は遅れています。

現在、日本にある 80 余りの歴史まちづくりの都市や地域には、おそらく、このイメージのように有形無形の文化財に上手く関与する人々の知恵や活動は、より豊かな世界へと広がっています。その地域の気候や風土、生態系などの自然条件が歴史文化遺産に多くの影響を与えてきたことも見逃してはならないでしょう。

400年間、首府であり続けた東京は、世界に比類なき日本一文化財の多い都市であり、伝統工芸に至っても日本有数の産地といわれています。

世界遺産に匹敵するといわれる史跡江戸城の周辺は、石垣やお濠、城門など歴史建造物群や美しい自然や景観は、歴史文化資源の宝庫であると考えます。

そこには、世界に比類のない祭りや年中行事、伝統芸能や民俗文化など数々の有形無形の歴史文化資源が豊かに広がっています。

プラットフォームでは、**本丸御殿等江戸城全体整備構想の策定活動と表裏一体として、江戸東京の歴史文化資源**をひとつひとつ、学びながら、見える化を進め、江戸東京歴史文化資源を活かした観光まちづくりを進めて参ります。



文化財の保護とまちづくり「歴史文化基本構想」の実現
～歴史まちづくり法との連携～（文化庁）より